

にしのおいけ

社会福祉法人 平成会

西の池学園

住所 東広島市高屋町小谷 5001-5

TEL (082) 434-0405

FAX (082) 434-5599

メール heiseikai@nishinoike.or.jp

HP <http://www.nishinoike.or.jp/>

編集 (福) 平成会 広報部

発行者 (福) 平成会 理事長 赤坂 秀則

第 76 号

(平成 28 年 4 月 1 日)



アパート清掃のメンバー

人手不足の時代に入ったと言われます。正社員の不足感がある企業が4割にのぼるという統計結果も出ています。業種や地域によって深刻度は違いますが、特に医療・福祉分野の状況が厳しいと言われており、実際に我々も実感しています。人材倒産というのは誇張した言い方かもしれませんが、施設や保育所を新規に開設したものの基準を満たす職員配置が難しいため、計画通りオープンできないところもあると聞きまですので深刻です。

当法人の様子をここ5年振り返ると、正規職員として毎年3人、9人の新卒採用をしています。ちなみに過去5年間採用した新卒者の定着率はほぼ100%です。また、9人の女性職員が出産後育児休業をとっており、今年度は4人が一年の育児休業から復帰します。一時的に業務の制限はありますが、経験を生かして将来的に大きな戦力になってもらえると期待しながら、こうした良い循環をつくりたいと思っています。小さい規模ですが毎年少しずつ新しい事業に取り組んでいることもあり、徐々に職員数も増えているという状況です。当然ですが、専門性を高めるため一定の資格要件を求め、そこは厳しく言い続けています。ちなみに利用者には直接かわる職員170人のうち、社会福祉士と精神保健福祉士の有資格者は20人、介護福祉士56人、保育士17人といったところです。

全産業で労働力不足という状況ですが、ヒューマンという感性の部分で優れた人材を確保し育成するため、将来に向けたビジョンを掲げ法人を挙げてこの課題に取り組みたいと考えています。平成会で働くことが誇りに思い、誰かの役に立ち、必要とされていることが実感できる職場の風土づくりに力を注ぎたいものです。

社会福祉法人平成会

理事長 赤坂秀則

「人材のこと」

『あおぞら工房 お役に立ちます!!』

あおぞら工房の作業の一つに、アパートの清掃作業があります。先日その作業中に、アパートにお住まいの方からコーヒーの差し入れを頂きました。「よく頑張っているから」と差し出されたコーヒーに、利用者さんも最初は驚いていたものの、すぐに笑顔になって「ありがたうございませす!」とお礼を言っておいしくいただきました。日頃の作業の様子を知っている方から、直接労いの言葉とプレゼントを頂いたことで、利用者さん自身たちの作業が社会の役に立っていることを実感



できたのではないでしょう

か。これからも色々な作業を通して「私の作業は役に立っている!」と自信を持って生活できるように支援していきたいと考えています。そしてゆくゆくは、これらの作業経験を活かして就職し、今以上に社会へ貢献してほしいと願っています。

就労支援員

内田 孝洋



『社会人としての自覚』

〜なごみの役割〜

平成会の施設を経て就職した方々、そしてグループホームから通勤している方々が三ヶ月に一回集まる食事会(飲み会)を「なごみ」と呼んでいます。皆さんとても楽しみにしている様子で、「なごみ」が始まると「スマホを変えたんじゃない」「職場に新しい人が入ってきたんじゃない」などお互いの近況を報告しあい、終始笑顔が絶えません。

そんな彼らも普段は小売業や製造業など様々な職場で働かれています。「なごみ」の合間にも、「明日仕事の人は、飲みすぎには注意するんよ」と声を掛けあう場面がよく見られます。

そのような会話を聞くたびに、「仕事とは自分の役目を果たすこと」という社会人としての自覚がしっかりと育っているんだな、と頼もしく思います。

社会で働くこと楽しいことばかりではないでしょうが、これからも自覚ある社会人として末永く働き続けて欲しいです。そして時々一息つける場所の一つとして、「なごみ」があるよう支援していきたいと思えます。

就労支援員

内田 孝洋

